

“街並みのデザイン” が “おもてなし”

公益社団法人 東京屋外広告協会

会長 石井卓爾



新「TOAA REPORT」に寄せて

今号を手にとられて、「あれっ」と思われた方も多いと思います。東京屋外広告協会の機関誌『TOAA REPORT』はこの9月号から新しくなりました。より見やすく、できるだけたくさんの情報をご提供できるようにとB5版からA4版のサイズへと拡大し、今後はカラーのページを増やしていく予定です。機関紙のリニューアルには当協会の滝副会長が委員長でいらっしゃる広報委員会、中でも編集小委員会の稲川委員長を始め委員の皆様のご尽力によって進めることができました。さらには会員の皆

様のご参加があってこそこの機関誌でございますので、当協会の情報発信の重要なツールとして今後とも役目を果たしていきたいと存じます。

第86回定期総会について

また、先般6月10日に第86回定期総会を開催し、平成25年度の決算を始め重要事項をご審議いただき、ご承認をいただきました。本誌において詳細を掲載しておりますのでご覧いただければと存じます。さらに本年度は「東京屋外広告コンクール」の実施を控えており、すでに準備も始まっております。改めて会員に皆様に種々ご協力を賜う機会があると存じます。よろしくお願いたします。

広告は街を明るくする

さて、ご承知のとおり、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。昨年、訪日外国人観光客数が1000万人を超え、平成26年4月には過去最高の記録となり、5月現在で累計500万人を突破しているとの発表がありました。政府は2030年までに訪日観光客3000万人を目標として様々な取組を行っています。

まさにオリンピックはビジネスチャンスであると思います。日本を訪れる多くの外国人は東京に足を運び、日本の街並みを味わうなど様々な観光を楽しみます。広告は街を明るくするものだと思います。今後は広告業界が力を合わせて美しい並みを作り、新しい事業展開を進め街の活性化に繋がる活動をしていくことを期待します。街並みはその土地の文化が表れたもの。屋外広告は街並みを構成する重要な要素のひとつです。私たちにとりましての“おもてなし”はまさに“街並みのデザイン”ではないかと思えます。

(東京商工会議所副会頭・三和電気工業株式会社社長)

あなたの未来を、カタチに。



株式会社フジサワ・コーポレーション

藤澤工業株式会社 株式会社ローヤルカラー 株式会社サワダ

<http://www.fujisawa-corp.co.jp>

本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1丁目10番地8号

コマーシャル・イメージング事業部 TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

第86回定期総会開催～平成25年度決算が承認される



6月10日、東京屋外広告協会の第86回定期総会が東商スカイルーム（東京商工会議所ビル）で開催されました。

開会に当たり、石井会長より「現在、訪日外国人観光客数が1000万人を超え、2020年には東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。街並みを構成する重要な要素のひとつが屋外広告で、その“街並みのデザイン”が“おもてなし”のひとつだと思います。これから新たな一歩を目指して様々な課題に取り組みながら進んでいきたい」と挨拶がありました。

今総会は平成25年度決算、そして一部理事の交代などが主な議題となりました。平成25年度の決算は経常収益が1,222万5,141円、経常費用が1,177万9,470円で当期経常増減額が445,671円、正味財産期末残高は840万3,828円でした。また、公益社団法人は公益目的事業として使われた費用が50%以上であることが義務付けられており、当協会の場合は812万6,689円、全体の約69%と報告があり、平成25年度の決算は満場一致で承認されました。



続いて、理事の柳館毅氏と高橋敏弘氏の退任、阿部晋治氏、池田剛氏の就任、新たに橘修氏の就任について審議が行われ、当協会の理事は23名から24名となりました。その他、平成25年度事業報告では平成25年9月に2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、今後の期待が高まった一年であり、引き続き、車体利用広告等デザイン審査件数が400件を超え442件であったことなどが報告されました。続いて平成26年度事業計画、収支予算について報告があり、全て了承され、高村副会長より閉会の辞が述べられ審議は終了しました。また、会員からは東商ビル建て替えに伴う移転先などの質問があり、仮移転先、移転期間などについて事務局より説明がありました。（事務局だよりご参照）

総会終了後、懇親会が開催され、冒頭に石井会長より「広告は街を明るくする、一致団結してきれいな街並みを作っていきます」と挨拶がありました。続いて間宮理事の乾杯の音頭により懇親会が始まり、会員を始め、関係機関、業界紙から約60名が参加し交流を深め、正盛理事の中締めにより盛況の内に閉会しました。

新理事名	社（団体）名	役職
橘 修	株式会社ジェイアール東日本企画	常務取締役 交通媒体本部長
阿部晋治	株式会社電通	アウト・オブ・ホーム・メディア局 局長
池田 剛	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	アウトドアメディア局 局長

人が通う。心が、かよい合う。

交通メディアのトータルプランニング

Advertising Agency

SHUNKOSHA

株式会社春光社

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-5 TEL:03-3538-9320 (代) <http://www.shunkosha.co.jp/>

平成 25 年度事業報告（抜粋）

【概要】

平成 25 年は政府による新たな経済政策により、景気回復に一定の明るい道筋が見え始め、さらに 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したことなど、今後に期待が高まる 1 年となりました。

当協会は監事を除いた全理事の任期満了による役員改選が行われ、新体制で事業を推進しました。「車体利用広告等デザイン審査」においては高速道路を走行するバスの車体後部を利用した広告が 9 月より認められるなど規則の改正があり、説明会を開催し周知に努めました。同デザイン審査の申請件数は 442 件と例年をかなり上回る実績となりました。また、機関誌 TOAA REPORT の発行を始め「色彩から見た東京の魅力」をテーマに屋外広告に役立つセミナーを実施するなど広く情報提供を行いました。

以上の主な事業の他平成 25 年度は当協会の責務である都市の環境美化等の推進や維持、屋外広告の資質向上を目指し下記のとおり事業を実施しました。

記

◆公益目的事業

1. 屋外広告に関する情報の収集および提供 「機関紙 TOAA REPORT に掲載」（主な掲載記事）

車体利用広告について

『東京都屋外広告物条例施行規則の改正について』

平成 25 年 8 月号

『車体利用広告等デザイン審査基準の一部改正について』

平成 25 年 5 月号 他

2. 車体利用広告等デザイン審査事業 デザイン審査件数 442 件

3. 屋外広告に関するセミナー・見学会等の開催

(1) 高速道路を走行するバスの車体広告説明会 参加者 61 名
平成 25 年 6 月 18 日（火）13 時 30 分より、東商ビル 4 階「特別会議室 A」
東京都都市整備局 一般社団法人東京バス協会 共催

(2) 特別セミナー 参加者 53 名
平成 26 年 2 月 28 日（金）13 時 30 分～14 時 30 分、学会館 2 階「203」
内容 「色彩から見た東京の魅力～オリンピック開催都市として～」
講師 株式会社日本カラーデザイン研究所 景観事業部長 杉山朗子氏

4. 広告業界普及啓発活動のための「TOAA REPORT」の発行

発行頻度 年 4 回発行、毎号 1,000 部

5. ホームページによる普及啓発活動

本協会の概要、機関誌、東京屋外広告コンクールの入賞作品、車体利用広告等デザイン審査基準等を掲載。 アクセス数 訪問者 25,130 人、ページビュー 51,495 件

6. 違反広告物等の東京都・市・区との共同除却作業

平成 25 年 10 月 2 日～23 日 参加企業 ㈱広正社、㈱日広通信社、㈱大晃

◆その他の事業

1. 会員相互のコミュニケーション・交流の促進

(1) 定期総会後の会員懇親会 参加者 59 名
平成 25 年 6 月 6 日（木）15 時～、「東商スカイルーム」

(2) 平成 26 年 広告界合同年賀会 参加者 1,514 名
平成 26 年 1 月 8 日（水）15 時半～、帝国ホテル本館 2 階「孔雀の間」

2. 業界紙掲載等による広報活動

『第 8 回東京屋外広告コンクール第 1～第 4 部門受賞作品のパネル展示』

平成 25 年 4 月 22 日（月）～5 月 5 日（日）、東京駅アートロード

『第 9 回クリエーティブ トップ ナウ展』主催（公財）吉田秀雄記念事業財団

第 8 回東京屋外広告コンクール都知事賞作品 4 点パネルと映像

平成 25 年 8 月 10 日（土）～10 月 14 日（月）、アド・ミュージアム東京

『車体利用広告等デザイン審査の最近の動き』

「Signs」2 号 2013AUTUMN 号〔(一社)日本屋外広告業団体連合会〕他

3. 会議等

(1) 委員会活動

①総務委員会

地域コミュニケーションは、
良質なメディアで。

●電柱広告・交通広告・屋外広告・広告企画

株式会社

東 広

広告代理店

本 社 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンフビル5階
Tel.03(3546)1050(代) Fax.03(3546)1060

町田支社 〒194-0013 東京都町田市原町田3-8-12 網倉ビル3階
Tel.042(728)1235(代) Fax.042(722)6915

埼玉営業所 〒336-0963 埼玉県さいたま市緑区大門3700
Tel.048(690)4600(代) Fax.048(812)1116

ホームページ <http://www.toko-ad.co.jp>

◇平成 25 年 5 月 8 日（水）13 時半～ 協立広告㈱「会議室」
議題 ・平成 24 年度事業報告（案）、平成 24 年度決算（案）他

◇平成 25 年 8 月 29 日（木）14 時～ 東商ビル 3 階「110 特別会議室」
議題 ・委員会について、諸規定 他

◇平成 26 年 2 月 25 日（火）13 時半～ 協立広告㈱「会議室」
議題 ・平成 26 年度事業計画（案）、平成 26 年度予算（案）他

②車体利用広告等デザイン審査委員会

◇平成 25 年 7 月 25 日（木）14 時～ 東商ビル 4 階「特別会議室 S」
議題 ・高速バスの後部広告の解禁について、今後の審査の進め方 他

◇平成 25 年 12 月 4 日（水）13 時半～ 東商ビル 3 階「301 特別会議室」
議題 ・審査について、クラウドを使った審査の検討、最近の審査案件 他

◇平成 26 年 3 月 4 日（水）12 時～ 東商ビル 8 階「東商スカイルーム」
議題 ・クラウドを使った審査の検討、局長表彰設置について、最近の審査状況 他

③事業委員会 事業委員会主催「特別セミナー」 前掲

④広報委員会、編集小委員会

◇広報委員会 平成 26 年 2 月 13 日（木）13 時半～ ㈱NKB「会議室」
議題 新「TOAA REPORT」について、平成 26 年度の広報関係の活動 他

◇編集小委員会 平成 25 年 11 月 13 日（水）11 時～、㈱文宣「会議室」
議題 ・これまでの「TOAA REPORT」、11 月号企画、今後の「TOAA REPORT」他

(2) 理事会及び総会

第 85 回定期総会 出席者 86 名（委任状 40 名）

◇平成 25 年 6 月 6 日（木）13 時半～ 「東商スカイルーム」
議題 ①平成 24 年度決算書等（案） ②理事（案）について
報告 ①平成 24 年度事業報告 ②平成 25 年度事業計画 ③平成 25 年度収支予算 ④新規入会の会員について

理事会

◇平成 25 年 5 月 15 日（水）13 時半～（出席者 理事 18 名 監事 2 名）㈱NKB「会議室」
議題 ①平成 24 年度事業報告（案） ②平成 24 年度決算（案） ③平成 25 年度代表理事・理事（案） ④平成 25 年度会長・副会長・常任理事（案） ⑤第 85 回定期総会について

◇平成 25 年 10 月 23 日（水）13 時半～（出席者 理事 18 名 監事 2 名）「東商スカイルーム」
議題 ①規則の設置 ②規則の改定 他 ③委員会について ④会員の入会について 他
報告事項 会員の退会について

◇日時 平成 26 年 3 月 11 日（火）14 時～（出席者 理事 22 名 監事 3 名）「東商スカイルーム」
議題 ①平成 26 年度事業計画（案） ②平成 26 年度収支予算（案） ③会員の入会について ④平成 26 年度定期総会開催について
報告事項 平成 25 年度事業報告概要について

臨時理事会

◇平成 25 年 6 月 6 日（木）14 時半～ 「東商スカイルーム」
議題 平成 25 年度 会長・副会長・常任理事の選任について

4. 定款規則等（平成 25 年 10 月 23 日の理事会において承認）。

- (1) 規則設置 特定費用準備資金等取扱規則、公益目的保有財産等取扱規則
- (2) 規則改定 会計処理規程、委員会規程、車体利用広告等デザイン審査委員会設置要綱

5. 組織

- ◇平成 25 年度会員数及び入会・退会（平成 26 年 3 月 31 日現在）
- ①会員数 正会員 118 件〔内訳：法人 95、個人 10、団体 12、（特別会員 1）〕
 - ②入会 法人会員 3 件 興和サイン㈱、㈱情通レゾナンス、㈱タクシー・アド
 - ③退会 法人会員 1 件 日本タクシー広告㈱

あらゆるニーズに応えます。

都営交通広告会

お問い合わせは

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-5 京橋スクエア
株式会社 春光社内

TEL 03-3538-9320(代) FAX 03-3538-9220

別表 1

平成25年度車体利用広告媒体別・月別デザイン審査件数前年度比

平成26年3月31日

媒体 月\年度	バス			モノレール			地下鉄			J R			私 鉄			タクシー・トラック			広告 宣伝車		合 計		
	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度	前年 度比	24 年度	25 年度
4月	26	31	119.2	0	0		1	0		4	4	100.0	4	8		0	0		9	14	44	57	129.5
5月	10	9	90.0	0	0		0	0		3	4	133.3	0	2		0	1		9	9	22	25	113.6
6月	12	12	100.0	1	0		1	0		10	5	50.0	5	3		0	0		8	10	37	30	81.1
7月	16	12	75.0	0	0		0	0		11	6	54.5	3	6		0	4		9	8	39	36	92.3
8月	16	15	93.8	0	0		0	0		3	7	233.3	4	3		0	0		11	10	34	35	102.9
9月	20	25	125.0	0	1		0	1		7	3	42.9	8	3		0	0		8	5	43	38	88.4
10月	31	12	38.7	0	0		0	0		4	3	75.0	3	1		0	1		10	10	48	27	56.3
11月	26	2	7.7	0	0		0	0		8	3	37.5	2	1		9	1		10	8	55	15	27.3
12月	10	16	160.0	1	0		1	0		9	12	133.3	8	2		4	0		7	6	40	36	90.0
1月	22	10	45.5	0	0		2	0		8	40	500.0	3	3		0	0		3	2	38	55	144.7
2月	27	15	55.6	1	0		0	0		3	9	300.0	6	4		0	1		8	6	45	35	77.8
3月	18	15	83.3	0	1		0	1		12	25	208.3	7	8		1	0		7	3	45	53	117.8
合計	234	174	74.4	3	2		5	2		82	121	147.6	53	44		14	8		99	91	490	442	90.2

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,022,764	4,605,735	△ 582,971
未収会費	160,000	160,000	0
未収金	143,000	30,000	113,000
前払金	174,960	0	174,960
流動資産合計	4,500,724	4,795,735	△ 295,011
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	665,000	525,000	140,000
保証金引当定期預金	352,004	352,004	0
共栄基金	3,300,000	3,300,000	0
特定資産合計	4,317,004	4,177,004	140,000
(2) その他固定資産			
電話加入権	125,284	125,284	0
敷金	177,000	177,000	0
その他固定資産合計	302,284	302,284	0
固定資産合計	4,619,288	4,479,288	140,000
資産合計	9,120,012	9,275,023	△ 155,011
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	772,658	△ 772,658
前受金	40,000	0	40,000
預り金	11,184	19,208	△ 8,024
流動負債合計	51,184	791,866	△ 740,682
2. 固定負債			
退職給付引当金	665,000	525,000	140,000
固定負債合計	665,000	525,000	140,000
負債合計	716,184	1,316,866	△ 600,682
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	8,403,828	7,958,157	445,671
(うち特定資産への充当額)	(3,652,004)	(3,652,004)	0
正味財産合計	8,403,828	7,958,157	445,671
負債及び正味財産合計	9,120,012	9,275,023	△ 155,011

企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる
ビジュアルニーズに応える総合コマースラボ。

デジタルの美しさを、人へ、街へ。

- 銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
- 屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

IGG 株式会社 ラボ・銀座
東京都中央区日本橋箱崎町20-13
TEL. 03-5614-4440 〒103-0015

正味財産増減計算書内訳表
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	普及啓発	小計	相互 コミュニケーション	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	0	0	0	0	1,043	0	1,043
特定資産受取利息	0	0	0	0	1,043	0	1,043
受取入会金	5,000	5,000	0	0	5,000	0	10,000
受取入会金	5,000	5,000	0	0	5,000	0	10,000
受取会費	4,702,500	4,702,500	0	0	3,847,500	0	8,550,000
法人会費	4,070,000	4,070,000	0	0	3,330,000	0	7,400,000
個人会費	220,000	220,000	0	0	180,000	0	400,000
団体会費	412,500	412,500	0	0	337,500	0	750,000
事業収益	3,103,000	3,103,000	550,000	550,000	0	0	3,653,000
受取広告料	620,000	620,000	0	0	0	0	620,000
行事参加料収入	0	0	550,000	550,000	0	0	550,000
受取デザイン審査収入	2,483,000	2,483,000	0	0	0	0	2,483,000
雑収益	0	0	0	0	11,098	0	11,098
受取利息	0	0	0	0	1,098	0	1,098
雑収益	0	0	0	0	10,000	0	10,000
経常収益計	7,810,500	7,810,500	550,000	550,000	3,864,641	0	12,225,141
(2) 経常費用							
事業費	8,126,689	8,126,689	1,135,449	1,135,449	0	0	9,262,138
役員報酬	1,683,000	1,683,000	99,000	99,000	0	0	1,782,000
給料手当	1,260,000	1,260,000	84,000	84,000	0	0	1,344,000
賞与	315,000	315,000	21,000	21,000	0	0	336,000
福利厚生費	307,008	307,008	20,321	20,321	0	0	327,329
退職給付費用	105,000	105,000	7,000	7,000	0	0	112,000
外注費	885,216	885,216	0	0	0	0	885,216
会議費	306,900	306,900	720,507	720,507	0	0	1,027,407
旅費交通費	404,634	404,634	24,614	24,614	0	0	429,248
通信運搬費	234,601	234,601	21,176	21,176	0	0	255,777
消耗品費	61,487	61,487	3,793	3,793	0	0	65,280
光熱水料費	23,806	23,806	1,480	1,480	0	0	25,286
支払手数料	2,205	2,205	210	210	0	0	2,415
賃借料	1,784,172	1,784,172	111,504	111,504	0	0	1,895,676
リース料	333,660	333,660	20,844	20,844	0	0	354,504
委託費	380,000	380,000	0	0	0	0	380,000
貸倒損失	40,000	40,000	0	0	0	0	40,000
管理費	0	0	0	0	2,517,332	0	2,517,332
役員報酬	0	0	0	0	198,000	0	198,000
給料手当	0	0	0	0	336,000	0	336,000
賞与	0	0	0	0	84,000	0	84,000
福利厚生費	0	0	0	0	119,242	0	119,242
退職給付費用	0	0	0	0	28,000	0	28,000
外注費	0	0	0	0	124,803	0	124,803
会議費	0	0	0	0	443,849	0	443,849
交際費	0	0	0	0	20,000	0	20,000
旅費交通費	0	0	0	0	93,352	0	93,352
通信運搬費	0	0	0	0	70,577	0	70,577
広告宣伝費	0	0	0	0	63,000	0	63,000
消耗品費	0	0	0	0	11,387	0	11,387
光熱水料費	0	0	0	0	4,455	0	4,455
諸会費	0	0	0	0	15,000	0	15,000
支払手数料	0	0	0	0	7,482	0	7,482
賃借料	0	0	0	0	334,524	0	334,524
リース料	0	0	0	0	62,556	0	62,556
委託費	0	0	0	0	260,400	0	260,400
租税公課	0	0	0	0	1,450	0	1,450
貸倒損失	0	0	0	0	40,000	0	40,000
雑費	0	0	0	0	199,255	0	199,255
経常費用計	8,126,689	8,126,689	1,135,449	1,135,449	2,517,332	0	11,779,470
評価損益等調整前当期経常増減額	△316,189	△316,189	△585,449	△585,449	1,347,309	0	445,671
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△316,189	△316,189	△585,449	△585,449	1,347,309	0	445,671
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	459,189	459,189	585,449	585,449	△1,044,638	0	0
当期一般正味財産増減額	143,000	143,000	0	0	302,671	0	445,671
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	7,958,157	0	7,958,157
一般正味財産期末残高	143,000	143,000	0	0	8,260,828	0	8,403,828
II 正味財産期末残高	143,000	143,000	0	0	8,260,828	0	8,403,828

The Visual Communication Company

キングプリンティング株式会社
www.kingprinting.co.jp

□ 東京支社 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目5-8 西新橋一丁目川手ビル4F ☎03(3503)6700

シリーズ「商業サインを考える」 - 1

NPO 法人サインセンター理事長／太田幸夫デザインアソシエイツ代表

太田 幸夫

1 まえがき

TOAA REPORTの本欄では以前、「公共サインを考える」と題したシリーズ原稿を6回担当し執筆してきた。10年ほど前である。時代が変わったとはいえ重要性が一層増しているキーワードを改めて話題にしながらい今回は、商業サインの望ましいあり方を、以下のテーマに沿って考えてみよう。

第1回 生物の生存に関わるサイン

第2回 コミュニケーション環境の主体

第3回 サインレスサインとサイン環境

第4回 商業サインと公共サインの融合

2 生物の生存に関わるサイン

我が国ではサインという用語が正しく理解されていない。野球のキャッチャーの指サイン、あるいは小切手や著書に名前を書く記名サインくらいが共通の理解でそれ以上のものではない。その理由は、サインを記号と和訳したことにある。サインという用語のまま最初から取り入れればよかったのだ。

日本記号学会創立の当初、設立準備を含めて何年間も関わった。ところがその後、次第に言語学や論理学に傾いていくことに気づいた。それ故、新たに日本サイン学会を創った。その設立総会で「トークオン記号とサイン」と題するパネルディスカッションを日本記号学会会長と日本サイン学会会長と国立国語研究所室長がパネラーで開催し、座長を勤めた。その後、筆者が日本サイン学会2代目会長を9年間勤めてきた。

ここでは全ての生物とサインの関係は切り離せないという事実に言及したい。アメーバーは光と熱、酸性とアルカリ性の計4種類のサインに適応しながら種の保存をはかっている。人間は単細胞ではないけれども、生殖の過程を見れば、単細胞となんら変わりがない。酸性とアルカリ性を精子が峻別できなければ、私たちの生命誕生はありえないからだ。

広い意味のサインはそれ故、生物の生存にとって必要な意味をもつ事物や状況のしるしである。私たちを取り巻く外界の全てはサインということになる。体内においても体温、脈拍、頭痛、腹痛など体調を知らせるしるしは、生存にとって重要な医学的体内サインであるし、DNAの遺伝子こそ、サインの代表だ。それに対して外界のサインはすべて環境サインだ。環境を構成するすべての

的確なメディア展開により 最良のソリューションへ導きます。

屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業



長田広告株式会社 交通事業部 東京オフィス

〒120-0034 東京都足立区千住1丁目11番2号 カーニブレイス千住8F Tel.03-5813-3317 Fax.03-3881-8155

サインで、いかにによりよいサイン環境を創るか、これが究極のテーマだ。目指すはアメニティーの高い環境情報の形成である。

このように考えると、今回のテーマ商業サインは、環境サインの1種類。他にも公共サインがあり、建物があり、交通機関や道路や物品があり、山や川など多様な自然がある。人々もいる。さらに建造物なら中身として、壁、床、天井、階段など、多様なサインで構成されている。こうしたサインの事例をひろくと、サインは単一的な意味であることがわかる。

一方、前回も触れたように、生物の生存に欠かせない3本柱が、もの、エネルギー、情報であることを想起すると、情報は、サインが集まった複合サインであることがわかる。生物としての生活主体が、感知・認知し、評価・対応する状況関係が情報であって、生物の生存上、最適な行動選択に役立つしらせである。そして「サインは情報の素子である」という認識に至る。

またサインはシンボルとシグナルから構成されており、シンボルは間接的で思惟的なサイン。シグナルは直接的で行動的なサインである。

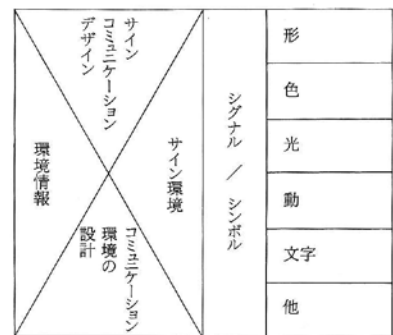
間接的で思惟的というのは、大工仕事で釘を打ったり抜いたりするのに、金槌や釘抜きを使うように、言語や図形を道具にして思考すること。その結果、経験や知識を蓄えて、将来の予測や準備が出来るようになった。人類最大の強みといえる。

一方、シグナルは熱いフライパンに触った瞬間“あっち！”といって手を離す、一種の信号だ。そうしたサインの現れ方は、素材、形状、構造、テクスチャー、文字、絵文字、マーク、色彩、光、音、温度、匂い、オブジェなど多様である。

以上を前提に、商業サインが市民や勤労者や来街者の生存にとって、いかに重要な意味を持つかと言えば、公共サインほどではない。都市の機能が重層複合化し、超高層や大深度地下空間がますます分かりにくく、ブラックボックス化する時代にあって、公共サインは案内サインの機能を果たす。あるいは災害に対して公共サインが、人々を非常口に導く。避難場所へ誘導する公共サインの全国的空白を埋める協働プロジェクトは目下、筆者が主宰して推進している。政府はこれに注目し「いのちを守るデザイン」と謳って、電子出版(Highlight JapanとPictogramで検索可)で世界にPRしている。

一方、商業サインは人々の生存にとってプラスの働きをするかどうか。嗜好性を満たし、心身の健康や充実のために表示されるイメージや情報が、街を生きかえらせて人間らしいライフスタイルをサポートしてくれる。しかし全ての人の生存を左右するほどの必然性は少ない。必要性を高める手立てはあるのだろうか。

今回は商業サインの3つの側面から考えてみたい。1.サインのデザイン 2.サインの情報 3.よりよい環境情報の形成。コミュニケーション環境の主体とともに考えてみよう。



1 サイン・コミュニケーション・デザインの概念図



東京メトロ



東京地下鉄広告会

【事務局】
〒105-0003
東京都港区西新橋1-6-21
NBF虎ノ門ビル4階
株メトロアドエージェンシー
媒体本部 媒体管理局 管理部内
TEL 03-5501-7835
FAX 03-3593-6150

東京の“ど真ん中”に情報発信

《新会員紹介》

新しい媒体の開拓を目指して ～「おもしろいことを」やりたい～

株式会社リップリンク 代表取締役 番場賢吾氏に聞く

甲州街道を代々木よりに入ったオフィスビルや店舗が立ち並ぶビルの一角に株式会社リップリンクがあります。オフィスが手狭になり、近々引っ越しを予定しているとのこと。創業は平成24年。従業員4人と共に、各地の現場を回る大変多忙の中、代表取締役の番場賢吾さんにお話しをお聞きしました。

「おもしろいことを」やりたい

何か「おもしろいことをやりたい」とお客様からざっくりとした希望を言われることがあります。当社はアドトラック、イベント、特に音楽イベントの運営、制作、そして看板などを手掛けていますが、所有する媒体だけでなく、他の会社の媒体の活用も含めてトータルに提案をするようにしています。このように提案方法は以前いた会社から学んだもので、お客様の目線を大事にしたいと思っていますからです。

ゴルフ場の看板

当社はそれ以外にもゴルフ場、クラブハウス周辺の看板を扱っております。ゴルフ場は会員制ですから、敷居が高いというイメージがあり、これまで看板の設置はほとんどありませんでした。最近はゴルフ場においてもスペースの有効活用をするところが出てきており、現在、当社では関東地域で10基設置しています。今後15基位まで拡大できればと思っています。



ゴルフ場看板

新しい媒体の開拓を目指して

ゴルフ場での看板のように新しい媒体、こんなところに広告ができないだろうかなどと最近いろいろなアイデアを自分で考えるようになりました。会社の社員として働いていた時と大きく違うところです。私たちは大手の広告代理店の下請けとして様々な事業を手掛けております。広告代理店が“売りたいくなる”“ような新しい媒体の開拓を目指しています。また様々なお客様に対応できるように地域によって違う条例や規則について勉強し会社として力をつけたいと思っています。

東京屋外広告協会に入って

今回、東京屋外広告協会に入会することは当社にとっても大変意義のあることだと思います。他の会員の方々と交流ができることや東京屋外広告協会から様々な情報をご提供いただけることを期待しています。

(談)

INTERACTIVE COMMUNICATION

NKB INC.

人と情報は動くもの、
だから交通広告&インターネット。

株式会社NKB

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル9階
TEL.03-3504-2100(代) FAX.03-3504-2101

■屋外広告調査フォーラムが組織強化と指標発表

屋外広告調査フォーラム事務局
株式会社 ビデオリサーチ
コミュニケーション調査部
新川 三郎

■組織強化

「屋外広告調査フォーラム」は1999年に設立され、屋外広告業界の健全な発展に寄与すべく、屋外広告に関する調査方法、データ活用方法等について研究し、業界標準化の推進を目的とした団体です。

去る5月21日（水）銀座キレイが丘にて「屋外広告調査フォーラム」総会が開催され、活動強化を目的とした新しい組織案が承認されました。新生「屋外広告調査フォーラム」は屋外広告事業者、広告会社、屋外関連団体など65社で組織され、理事会を筆頭に「調査」「広報」「総務」の各委員会を中心に活動していくこととなります。

会長 : 清水公一氏（城西大学大学院経営学研究科教授）
調査委員長 : 木村有宏氏（㈱電通）
広報委員長 : 上津原庸介氏（㈱弘亜社）
総務委員長 : 岡部宏氏（㈱アサツー ディ・ケイ）
賛助会員 : 一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会
監査役 : 公益社団法人 全日本ネオン協会
事務局 : ㈱ビデオリサーチ

■指標発表

①歩行者用繁華街ボード用の屋外広告推定視認率算定表（2014年度版）をリリース

歩行者用繁華街ボードの効果指標である「屋外広告推定視認率算定表」を、2011年度版から2014年度版に改定しリリースしました。この「屋外広告推定視認率算定表」は「面積/設置位置および設置角度/設置高さ/クラッター/照明」の媒体5属性についてそれぞれ5段階（カテゴリー）の評価をすることによって、各媒体の推定視認率算定を行うことができます。2014年度版は首都圏と関西圏の主要な媒体の「視認率調査」と「媒体属性調査」の結果を反映し、2011年度版よりもデータを増やし精度の高い指標となっております。2014年度版の特徴は「設置高さ」における「1～2階」の視認率に与える影響度が高まる結果となっております。

また、ビデオリサーチの調査データをもとに算出した、各媒体付近の通過人数データや来街者数データも全国5地区（首都圏、関西圏、名古屋、北部九州、札幌）で更新しました。この「人数データ」に「推定視認率」を乗ずることによって、「推定視認者数」を算出することが可能となっております。

図1は渋谷ハチ公前広場周辺にある媒体Aの推定視認者数の算出例です。

Energy of Communication

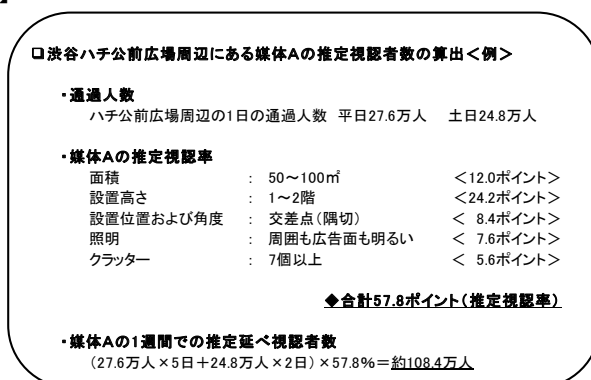
広告もeCO時代へ。

あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。

KYORITZ
ADVERTISING AGENCY
協立広告株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:<http://www.kyoritz-ad.co.jp>

【図1】



②ロードサイド（ドライバー用）のサーキュレーションデータをリリース

ロードサイド（ドライバー用）のデータとして、首都高と首都圏主要一般道の「通過台数」と「推定視認可能人数」のデータを整備しリリースしました。「推定視認可能人数」については、「台数」に当フォーラムで推計した平均乗車人数1.38（人/台）を乗じて算出しております。

これらのデータにつきましては、「屋外広告指標推定システム」に搭載し、7月1日より当フォーラム会員社の皆様にご利用頂いております。

「屋外広告調査フォーラム」では、今後も屋外広告の効果に関する調査・研究を続けてまいります。今年度からは「媒体属性」、「媒体への視線当たり度合い」、「認知」の関係について科学的に調査・検証して（下記【図2】）、将来的には指標の策定を目指しております。

【図2】



以上、「屋外広告調査フォーラム」の組織強化と指標発表について簡単にお伝えいたしました。2014年10月21日（火）には東京屋外広告協会様主催のセミナーで、今回記載させていただいた内容をより分かりやすく、詳細にお話しさせて頂く予定です。セミナー開催のお知らせは別途あると思いますので、皆様奮ってご来場のほどお願い申し上げます。今後も折に触れ、皆様にご報告の機会を持ちたいと思っております。引き続き、ご理解・ご支援のほど宜しくお願い致します。

【お問い合わせ先】

当フォーラムへのお問い合わせや参加申し込み等は、（TEL03-5860-1761）

「屋外広告調査フォーラム事務局 新川（にいがわ）もしくは濱本まで」

<http://www.ad-nikko.co.jp>

伝えることが仕事です。

サイン・ディスプレイ/POP制作
電柱・交通広告/マスメディア
デザイン・印刷物・販促プランの提案
展示会トータルプロデュース
出展ブース企画・運営

総合広告代理店
株式会社日広通信社

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521 (代) FAX.03-3263-3509

世界サイン紀行Ⅸ

アメリカ合衆国 ロサンゼルス

本の森・ロス市立図書館

小野博之

ロサンゼルスを中心街をこれというあてもなくウォッチングしていたら急に生理現象を催し、ちょっと困った。地図を開いて見ればそこはちょうど市立図書館の近くではないか。これ幸いとさっそく駆け込んだ。ガランとしたトイレのブースはどれもドアが壊れていたり鍵が無かったりでかなりの荒れようだったが、背に腹は代えられない。

スッキリしたついでに館内ウォッチングでしばし時間を費やすことにした。

一階のロビー付近はいろんな人種と風体の人間がぞろぞろ往来し、やけにざわついているし、中庭では何かのパーティの真っ最中。ここが本当に図書館なのかと一瞬疑ったほどだ。ところがエスカレーターで上階の閲覧室に上がったら広々とした空間に整然と書架が並び所員以外に人影が見えない。森閑としてまさに「本の森」といった趣なのだ。さらに驚いたのは、棟の一翼が地下三階から五階まで吹き抜けのアトリウムになっていて巨大な大理石の柱列がそそり立っている。図書館というよりまるで神殿か財閥企業の贅を尽くした研究所の趣。さすがは金持ちアメリカと恐れ入った。

敷地の一角は、噴水や彫刻を配したちょっとした小公園になっていた。入り口近くにモニュメントのように立つサインは表面を色タイルで仕上げた逸品で、この図書館にふさわしい風格を備えていた。



事務局だより

【今後の予定】

◎東京屋外広告コンクール実施委員会

日時：平成26年9月9日（火）13時半～14時半

場所：東商スカイルーム

◎第2回総務委員会

日時：平成26年10月2日（木）13時半～14時半

場所：(株)協立広告「会議室」

◎第2回理事会

日時：平成26年10月8日（水）14時～15時

場所：東商スカイルーム

◎第2回車体利用広告等デザイン審査委員会

日時：平成26年10月16日（木）13時半～15時

場所：東商スカイルーム

◎セミナー

広告宣伝車について

屋外広告調査フォーラム「屋外広告新指標」
について

日時：平成26年10月21日（火）14時～16時

場所：国際会議場（東商ビル7階）

※お知らせ・東商ビル仮移転について・

住所：千代田区丸の内2-5-1

丸の内二丁目ビル

移転：平成26年12月27日（土）～1月3日（土）

期日：平成27年1月5日（月）より新事務所

編集後記

「TOAA REPORT」今月号から変わりました。これからも役に立つ情報提供など内容の充実を図ってまいります。どうぞよろしくお願いたします。